



ちびっ子ファーム

(西条市立神戸小学校との交流活動①)

本校では、今年度より「西条さくらプロジェクト」を実践しています。その一環として、本校食農科学科の生徒が先生役として幅広い年齢層と交流活動を行うことで、地方創生のための人材育成及び地域連携した魅力ある学校づくりを行っています。

畑づくり

5月8日(月)

5月8日(月)、食農科学科3年生の「農業機械」選択生が、神戸小学校2年生との交流活動を行いました。神戸小学校では、毎年2年生がミニトマトをはじめとした夏野菜の栽培を行っています。野菜栽培に欠かせない作業の一つに「土作り」があります。栽培予定の畑に生育初期の成長を助ける元肥(鶏ふん)を入れ、耕運機で耕しました。耕運機で耕せないところはクワで耕していきます。小学生も、普段見慣れない機械や農具に興味津々でした。



細かい所は手作業で



野菜苗定植

5月11日(木)

5月11日(木)、食農科学科2年生の「野菜」の授業で、今度は野菜苗の定植を行いました。苗はもちろん、本校野菜班が春休み中に管理してきた苗です。

野口君から全体説明をした後、プランターにミニトマトを定植しました。移植ごとの使い方や苗を植える深さなど、一つ一つの作業を児童・生徒が協力して丁寧に行っていきます。畑には、ナスやトウモロコシなど、子供たちが育てたい・食べたい作物を定植しました。ピーマンが苦手な子供が多いせいか、ピーマンの希望者は38人中1人でした。

丁寧に定植します



トウモロコシは大人気!



野菜を支える
支柱を立てます



元気に
育ちますように